



第28回福崎町自然歩道を歩こう大会

広報

ふくさき12

2017
(平成29年)
No. 612



- 福崎町観光協会からのお知らせ -

合格祈願は「学問成就の道」で！

福崎町出身の民俗学者・柳田國男とさまざまな分野で功績を残した國男の兄弟の氏神である鈴ノ森神社と、学問の神様・菅原道真を祀る北野天満神社は、ともに学問成就にゆかりのある神社として知られています。二つの神社を結ぶ道は「学問成就の道」と呼ばれ、合格祈願や学問成就祈願にこの道を通して二つの神社に参拝すると、願いがかなうといわれています。

道沿いには柳田國男とその兄弟(松岡五兄弟)の石像が設置されています。一步一步に願いを込めて、「学問成就の道」を散策してみませんか？

辻川山にある「望郷の丘」には壁面に井ノ口区出身の歌人・岸上大作の写真と故郷を詠んだ短歌が焼き付けられたタイルが掲げられています。



望郷の丘



井上通泰 (3男)
松岡 鼎 (長男)



柳田國男 (6男)



松岡静雄 (7男)
松岡映丘 (8男)

石像の台石には縁起のよいものが描かれているよ！探してみてね。



鈴ノ森神社

柳田國男や井上通泰の氏神である鈴ノ森神社では、合格祈願に絵馬を納めるとよいといわれています。

学問成就グッズ

フクちゃん・サキちゃん すべらないシール

受験ですべらない！縁起かつぎの合格祈願グッズ。文房具などの平らなところに貼り付けると滑り止めになります。



300円 (税込)

もちむぎのやかたで販売



学問成就合格鉛筆

縁起のよい五角形の合格鉛筆。

100円 (1本・税込)

柳田國男・松岡家記念館・社会教育課で販売しています。



北野天満神社

学問の神様 菅原道真を祀る北野天満神社。拝殿の「なで牛」をなでるとご利益があるといわれています。



鈴ノ森神社 合格祈願祭

日時 平成30年1月7日(日) 11:00~ (受付10:30~)
場所 鈴ノ森神社
内容 合格祈願ご祈祷 (鈴ノ森神社宮司)
祈禱料1,500円 要申込 (12月24日(日)締切)
主催 辻川区
問い合わせ・申し込み先
柳田國男・松岡家記念館 (☎22-1000)



受験生
あつまれ！

行事予定(12月16日～1月10日)

月	日	曜日	時間	行事
12	16	土	11:00	おはなし会
12	23	土・祝	14:00	子ども映画会 「ドラゴンキングダム」
1	10	水	11:00	えほんのじかん
12月28日資料整理のため休館				

年末年始休館のお知らせ
12月28日(木)～1月3日(水)

*12月14日(木)～27日(水)は
20冊・4週間の貸出しになります。

クリスマス会

申込不要

12月23日(土・祝) 10:00～

♪おはなし会 ♪ハンドベル演奏会

♪クリスマスマーケットでおかいもの!

ケーキ屋さんやほうせき屋さん…

図書館でクリスマスのおかいものをしましょう♪

※子ども向けイベントです。



としょかんであそぼ会

申込不要

1月6日(土) 10:00～12:00

〇とんとんずもう

〇播州弁かるた

〇くにょはんふくわらい

〇フクサキすごろく



新 着 図 書

八千種研修センター 図書室

☎22-1564

一般書7冊

「希望が死んだ夜に」 天祢 涼

「砂上」 桜木 紫乃

三木家住宅「わが家の雛人形展」
出品者募集

三木家住宅で開催する「わが家の雛人形展」に出品を希望される方を募集しています。町民のみなさん愛蔵の雛人形を飾る三木家の春の催しです。ぜひご応募ください。



展示期間

平成30年2月10日(土)～3月25日(日)

三木家住宅の公開日は土・日曜日・祝日のみ。

飾り付け

2月2日(金)～4日(日) 10:00～14:00

片付け

3月26日(月)・27日(火)・31日(土)
10:00～14:00

募集する雛人形

段飾り、ケース飾り、掛け軸など。

展示面積がおよそ1.5m四方に収まるもの。

10組程度。

応募条件

家庭の雛人形を飾っていただける福崎町民で、飾り付け・片付けを上記期間内にご自分でしていただける方。また、展示終了後はお持ち帰りいただきます。

展示方法は露出展示です。パーテーションを置きますが、万一の損傷や盗難の責任は負いかねますので、会場を下見していただき、展示環境をご了承のうえ、お申し込みください。

応募方法

12月27日(水)までに、福崎町教育委員会 社会教育課(☎22-0560 内線256)へ電話でお申し込みください。その際、人形の形態・大きさ・特徴をお知らせください。

申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。

第10回吉識雅夫科学賞と
こども科学展のお知らせ

子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的に、優れた研究、観察、制作を行った町内小中学生に対して吉識雅夫科学賞を贈っています。受賞作品は「福崎町こども科学展」で展示しています。

期間 12月9日(土)～23日(土・祝)

場所 図書館(月曜休館)

兵庫県連合自治会大会開催

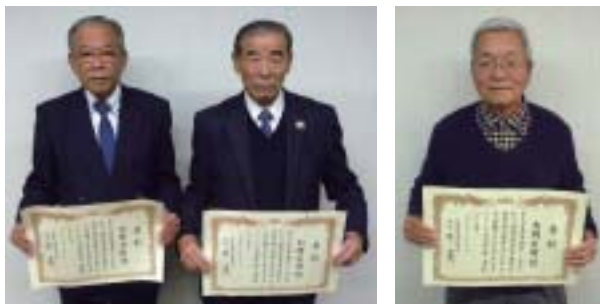
11月22日、赤とんぼ文化ホールで開催された「第48回兵庫県連合自治会大会」で、永年にわたり明るく住みよい地域社会づくりに貢献された区長に、兵庫県連合自治会長から表彰状が贈られました。表彰された方は次のとおりです。（敬称略）

【兵庫県連合自治会長表彰(5年)】

高岡正明(吉田) 松岡光夫(余田)

高原光則(西治)

今後ますますのご活躍を祈念します。(総務課)



高原光則さん 松岡光夫さん

高岡正明さん

食育通信

～八千種小学校の農業体験～

10月26日に鍛冶屋営農組合にお世話になって、1～4年生は、さつまいもをたくさん収穫しました。子どもたちは土の中か



ら大きなさつまいもを掘り出すと、大喜びでした。5・6年生は、もち米の稲刈りをしました。鎌で稲を刈り、束ねて稲木に干す昔ながらの作業を、ていねいに教えていただきました。また、足踏み式の機械を使って、脱穀する体験もしました。11月24日には収穫したもち米を使って、地域の方といっしょにおはぎ作りをしました。

このような体験が子どもたちが伝統的な食文化を見直すきっかけとなることを期待しています。営農組合のみなさま、地域のみなさま、ありがとうございました。



満百歳!

おめでとうございます



11月11日、駅前の山下鈴子さんが満百歳を迎えられました。

散歩と編み物がお好きで、毎日きれいな毛糸で小物をつくれ、楽し



くお過ごしです。今後ますますお健やかに、さらなるご長寿をお祈りします。

なお、百歳をお祝いして、百歳の森記念碑にお名前を刻みました。(健康福祉課)

自然歩道関係功労者表彰 (環境省自然環境局長表彰)



環境省では、10月を「全国・自然歩道を歩こう月間」とし、毎年この月間中に、自然歩道関係功労者表彰を行っています。

今年度、中塚幹男さんが永年にわたる「福崎町自然歩道を歩こう大会」の運営協力や、近畿自然歩道の維持・管理に尽力された功績により表彰を受けられました。おめでとうございます。

今後ますますのご活躍を祈念します。

(住民生活課)

福崎町ふるさと学習「遠野の昔がたり」

～柳田國男先生の名作『遠野物語』の魅力を学ぶ～

11月17日、田原小学校5年生が『遠野物語』など遠野に伝わる昔話や伝説を聞き学ぶ、ふるさと学習を行いました。講師は遠野生まれの語り部・大平悦子さん、会場は柳田先生が幼少期を過ごした三木家住宅。遠野地方の方言でいきいきと語られる遠野物語の世界を楽しみました。(社会教育課)





第44回福崎秋まつり
町長 橋本省三

12月で就任2年となります。私は就任以来、4つの柱を定め町政を進めてまいりました。

1つ目の柱は重点項目のJR福崎駅周辺整備です。5年計画で推進しており、平成30年度が最終年度です。ただ、一部繰り越しがあるため完成は平成31年度になりますが、新しい福崎駅周辺の姿を披露できることを楽しみにしています。

2つ目の柱は、子育て支援です。平成28年4月から学童保育の利用時間を午後7時まで延長しました。また、中学生以下の医療費無料化に加え、今年度からは1歳から中学3年生までを対象にインフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施しています。今後も、子育て世代のニーズに応える施策を実施してまいります。3つ目は安全・安心のまちづくりです。頻繁に起こる集中豪雨や台風による浸水被害を防ぐため、雨水幹線の整備や砂防・治山事業を推進しています。今

年10月には自衛隊や警察署・消防署と連携し、総合防災訓練を実施しました。学ぶことが多くあり、日頃からの備えの重要性を改めて認識しました。

4つ目は地方創生です。現在は観光振興関連事業に取り組んでいます。観光客を増やし福崎駅から辻川界隈への流れを作ることで、多くの訪問客でにぎわう福崎町、そして活気ある駅前となるよう取り組んでいます。他にも、特産『もち麦』の6次産業化を目指すための環境整備を進めています。

就任してから2年の間に行政を取り巻く環境は大きく変化し、新たな課題も生まれています。平成28年度から各集落をまわり開催している行政懇談会は、みなさんからの意見・要望を直接聞くことができる貴重な機会です。みなさんとの参画と協働により、今後も活力にあふれ、風格のある住みよいまちづくりを目指し取り組みを進めてまいります。

先月号まで連載していた「役場職員の紹介」は、全16回で幹部職員全ての紹介が終わりました。2月号からは役場の各施設を紹介していきますので、ぜひご活用ください。

～みんなで使い明日につなぐ公共交通～

福崎町では、通院や買い物などの日常生活における移動手段として、鉄道や路線バス、コミュニティバス等の公共交通が重要な役割を担っています。しかしながら、人口減少や過度な車依存により路線バスなどの公共交通は利用者の減少傾向が続いています。一方で、車を運転できなくなった高齢者や生徒にとって公共交通は唯一の移動手段となるケースも多く、高齢化がすすむに伴いその必要性は更に高まっています。

このような背景を踏まえ、福崎町では本年度公共交通政策全体のマスタープランとなる福崎町地域公共交通網形成計画の策定に取り組んでいます。

交通事業者は、利用者が減り続けると収支が悪化するため、利用の少ない路線の減便や廃止を検討せざるをえません。このような事態とならないように、町、交通事業者及び地域住民は互いに協力しながら公共交通の利用促進を行っていくことが大切です。



本年度は路線バス利用促進の一環として、神姫バス株式会社と国土交通省近畿運輸局のご協力をいただき、11月15日に八千種小学校で路線バスの交通安全教室やバリアフリー教室を実施しました。(まちづくり課)



ほちようきたいけん

八千種小学校2年

上田蒼大

ぼくのクラスには、ほちようきをつけている友だちがいます。Ｙくんです。Ｙくんはようじえんのころからほちようきをつけています。

今ぼくは、Ｙくんのよこのせきです。ちよつと耳が聞こえにくいだけで、あとは、ぼくとおなじでなんでもします。先生や友だちの言ったことで、分かりにくそうだなと気づいたら、ぼくは、Ｙくんのかたをトントンして、目を見て、「先生が、『ノートに書くんやで。』って言つとつで。」と言います。ぼくが気づかなかつたら、Ｙくんから、ぼくのかたをトントンして、「先生、何言つとん。」と聞いてきます。

Ｙくんが、ぼくに聞いてくるときは、ちよつとだけふでばこが、ガタガタなっている

ときが多いです。だから、まわりがうるさいと聞こえにくいんだなと思います。

ぼくたち二年生は、ほちようきたいけんをしました。ほちようきたいけんをしてびつくりしたことは、まわりがつかえやふでばこをドンドンならしたら、あんなにぜんぶの音をすいこんで、話しごえが聞こえにくくなるということなんです。まわりの音が、いつもの二ばいも三ばいもうるさく聞こえました。

Ｙくんは、いつもあんなに音が大きく聞こえるんだなとびつくりしました。あれでは先生のこえが聞こえませんか。このたいけんをして、できるだけふでばこやつくえの音を立てないようにしないとけないなと思いました。あんなにうるさいつてかんじているから。

ほかに、「ちようかくとくべつしえん学校」のことを教えてもらいました。耳が聞こえにくくても、一りん車がとくいで、そうじもきれいにできるかわかりました。何でもできるそうです。いっばいできることがあるそうです。Ｙくんも何でもほくたちといっしょです。あそぶときはほちようきはずしてはいるけど、わかりにくいことは、そばで言つとつたわります。

家族の大切さ

福崎小学校4年

山本颯真

ほちようきたいけんをして、ぼくたちは、もつとしずかにしないと話が聞こえにくいんだということや、かおを見て話をしたらいいということがわかりました。でも、それは、ほちようきをつけている人だけでなく、ほちようきをつけていなくてもたいせつなことです。

これからも、Ｙくんがこまっていたらたすけてあげたいし、いっしょに楽しくべんきようしたりあそんだりしたいです。

ぼくは四人家族です。お父さん、お母さん、お姉ちゃんとからしています。ぼくのお姉ちゃんは、生まれた時から耳が聞こえにくいんです。大きな声しか聞こえませんが、お姉ちゃんには聴器をつけて生活しています。お姉ちゃんが聴器をつけていない時には大きな声で話をしてあげます。テレビを見る時は、字まくをつけて、いっしょに見ます。お姉ちゃんが話にくくそつうにしている時やまわりの人に言いたいこと



田原小学校5年 浅井龍人

が伝わりにくそうにしている時は、ぼくがお姉ちゃんの通やくをしたこともありませう。本当に大切なことは相手が多に何ができるか考えることだと思ひます。ぼくは耳がよく聞こえるので、耳が聞こえにくい生活がどんなものか、どんなしんどさがあるか分かりませう。けれど、お姉ちゃんの気持ちをこれからも考えて、家族でささえ合つていきたいと思ひます。



福崎小学校6年 楠田翔吾



福崎西中学校3年 重里さくら



福崎東中学校3年 桐月美侑

これからも家族を大切にしたいです。